

■特集

京都の町家を活用した介護事業所

「板橋の町家ほっこり」を見学しました



■特別対談 社会福祉法人京都老人福祉協会様 × ネクストビジョン
利用者様・ご家族の願いを中心に考え、それを実現するための
サービス体制・スタッフ教育の充実を図っていく

■五味の今号のツボ
学んだことは、いかに現場に活かしていくかが肝要

■社内研修レポート
「自己理解を深める」～「ありがとうの輪」広げよう～

■特集 京都の町家を活用した介護事業所 「板橋の町家ほっこり」を見学しました



町家をそのまま「小規模多機能」「認知デイ」として活用

今回、お邪魔したのは京都の町家を改装した介護事業所「板橋の町家ほっこり」です。改装とは言いますが、エレベータや段差解消が目につくぐらいで、ほとんど町家そのものにしか見えません。

元々は醤油蔵だったそうで、大変、趣のある建物に圧倒され、「うわあ京都って凄いなあ」という声が思わず漏れます。

とは言え小規模多機能や認知症対応型通所介護となっているお部屋は、ご自宅の部屋そのもので、ご利用者様は大変、落ち着かれています。



「板橋の町家ほっこり」(京都市伏見区 / 京都老人福祉協会様)

「和歌山県の御坊市から来ました」とご挨拶すると、「遠いところからきはったんやなあ。ゆっくりしてって」と、笑顔で迎え入れて頂きました。

お伺いしたのが10月末ということで、スタッフさんは、ハロウィンのカボチャを模したチョコレートケーキをつくっておられました。ご利用者様は、スタッフさんが上手くカボチャの顔を描けるか、ニコニコしながら眺めつつ、私たちに「あんたも食べてって」とお声をかけてくださいました。気遣っていただきありがとうございます。

さてさて、洋風の建物に慣れている私たちにとって、町家の介護事業所というものは本当に驚きに満ちています。お部屋の仕切りは「ふすま」ですし、その上には鴨居があるので、密閉されていません。姿はなんとなく見えるし、声もよく聞こえます。

でもこれが、「皆に混じりたくないけど賑わいを感じたい」という男性利用者様にとても好評なんだそうです。ちょっとしたパーソナルスペースになって居心地が良いのだとか。とても勉強になりました。



大正時代の醤油蔵を改装した空間は、ご利用様が昔、過ごされたご自宅のような雰囲気です。

ご利用様は皆さん、落ち着かれています様子で、私たちを温かく迎え入れて下さいました。

塗り壁、襖（ふすま）、障子（しょうじ）、鴨居（かもい）、欄間（らんま）など純和風の設（しつ）えが印象的です。



中庭を通してスタイリッシュなサービス付き高齢者向け住宅と行き来

もう一つ注目したいのは、「ほっこり」の隣にあるサービス付き高齢者向け住宅「さくらハウス板橋」です。建物間は、中庭の縁側を介して、車椅子でそのまま出入りできるようになっています。

さくらハウス板橋のお部屋にもお邪魔させて頂いたのですが、これがお洒落で凝ったものになっていました。

こちらのご利用様は自立度が高いですが、急性増悪時には、看護師さんが対応されますし、重度化した場合は、母体である社会福祉法人京都老

人福祉協会様のグループ事業所が対応されることで、安心ある暮らしを支えておられました。

京都老人福祉協会様は、1957年に設立され、特養や訪問看護などの高齢者向けサービスのほか、障がい者向けサービス、児童向けサービスと非常に幅広い事業展開をされています。

今回は、「どのような環境でご利用様を迎え、どのように過ごしていただくか」といったご努力に加え、「京都らしさ」も大いに学ばせて頂きました。



隣接して建てられたサービス付き高齢者向け住宅「さくらハウス板橋」は、お洒落な西洋風。中庭を通じて行き来が可能です。

利用者様・ご家族の願いを中心に考え、それを実現するためのサービス体制・スタッフ教育の充実を図っていく

身近にある小規模多機能のスタッフが「できるだけ在宅で頑張りたい」を支える

濱上 サービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住）にお住まいの方は、小規模多機能（以下、小規模）に登録されているのですか？

西本 ご入居前から馴染んだ他の通所介護や訪問介護を利用されている方もおられます。ただ、夜間のコール回数が多かったり、排泄介助の回数が増えてくるケースでは、小規模を希望されることが多いです。

溝口 介護保険での上限額を超えて実費負担になるということでしょうか？

西本 そうですね。実費で 10 万円近くのご負担になることもありました。ここはサ高住と小規模があるということで、担当ケアマネジャーさんが、入居・登録されることを考えてくれることもあります。施設入所を本当は考えないといけなくなってきたけど、「できるだけ在宅で頑張りたい」と願っている利用者さんやご家族が多くおられるのです。こうしたケースでは、小規模でしか支えられないのではないのでしょうか。

吉開 こちらでもターミナルケアから看取りまで対応されていると伺いました。現場スタッフの不安解消、その方への寄り添いや看取りに至るまでの教育は、具体的にどのようなことをされていますか？

西本 誰しも不安に感じるものですが、何かあった時は、しっかり見ることが大切だと伝えています。経験をつむと、やがて、急性増悪する前に「何かおかしい」といった小さな異変に気付くようになります。研修で身につけるのは難しいので、実地で説明しています。

吉開 その都度どこに注目すべきか情報共有なさるのですね。

利用者様とスタッフが一緒に調理できることの継続が重要

川口 デイでは利用者様も洗い物をされると伺ったのですが、調理も一緒にされるのですか？

個人の自覚にまかせるだけでなく
互いに職員が伸ばしあっていく
組織づくりにつなげていきたい。
代表取締役 五味 牧

ハードを変えるのは難しいが
一人ひとりに寄り添う関わり方で
環境をより良く変えていける。
通所介護課 課長 川口 幸男



社会福祉法人 京都老人福祉協会
東高瀬川センター
施設長 橋川光一郎 様



社会福祉法人 京都老人福祉協会
看護職員 西本房子 様

西本 認知症対応型デイでは家事もして頂いています。御汁やご飯をつくったり、配膳もしています。出来る方は料理を小鉢に分けて盛り付けたり、ネギを切ったりされていますよ。匂いが刺激になり、参加される方が増えてきました。

五味 「できる」ことを継続するのは本当に重要だと思います。利用者様ももちろん喜ばれるでしょう。それに、この町家は魅力的ですね。職員様も、こうした場所で働きたいと思われるのではないのでしょうか？

橋川 職員採用イベントや施設見学をほっこりでしています。「ここで働きたい」と言っていただくことが多いです。

研修は「学んだことをいかに実践できるか」 自己満足で終わらない取り組みが重要

五味 ちなみに入職後の研修はどのようにされているのですか？ 当法人ではこれまで、「研修を受けても、結果として期待した効果が残らない」ケースが多くありました。それで、どのように研修すべきか、ずっと検討を重ねています。

橋川 私共も過去、「座学を受講して自己満足で終わる」という状況を見て、「学んだことを現場で実践できる力をつけていかなければ研修の意味がない」と考えました。

五味 全く仰る通りで、後の行動が大切だと思います。

橋川 そうです。検討を重ねた現在では、事前に課題をピックアップし、当日のグループワークを経て、1ヵ月後に、どうだったか結果を確認し、上司がコメントするところまでを1クールとするような研修にしています。

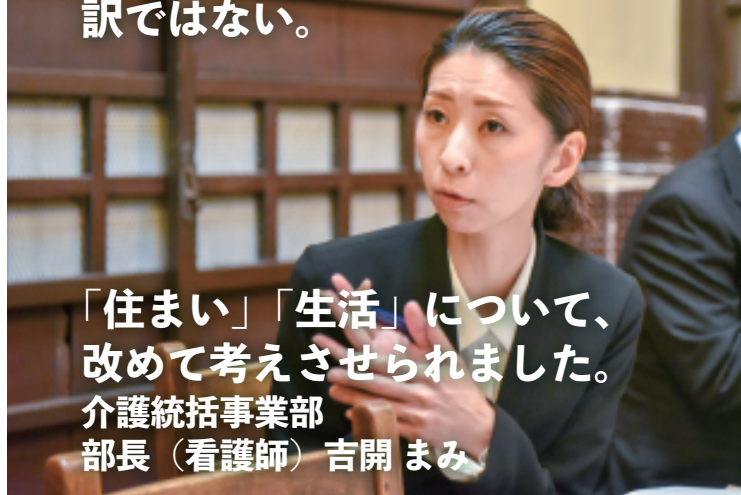
五味 上司の方がコメントをすることで、ちゃんと見ているという信頼関係も生まれますね。

橋川 そうしたモチベーションアップにつながるという意見が出ており、この取り組みの拡大にトライしていこうとしています。

五味 我々も、ここで学ばせて頂いたことを、行動として次につなげるよう、トライし続けてまいります。今日はありがとうございました。

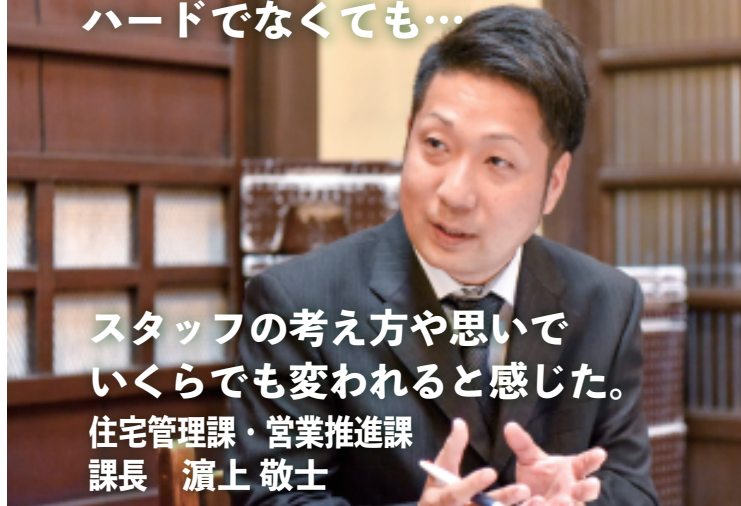
※敬称は略させていただきます

必ずしも最新設備が望まれる
訳ではない。

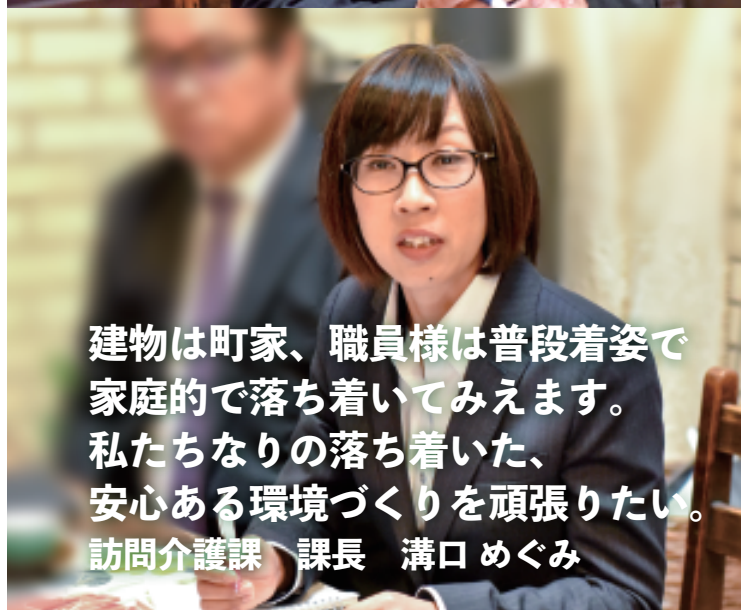


「住まい」「生活」について、
改めて考えさせられました。
介護統括事業部
部長（看護師）吉開 まみ

例え高齢者介護に向いている
ハードでなくても…



スタッフの考え方や思いで
いくらでも変われると感じた。
住宅管理課・営業推進課
課長 濱上 敬士



建物は町家、職員様は普段着姿で
家庭的で落ち着いてみえます。
私たちなりの落ち着いた、
安心ある環境づくりを頑張りたい。
訪問介護課 課長 溝口 めぐみ

見学を振り返って

吉開 固定観念による押し付けのないように

「障子で仕切った和室が静養室？」「町家って迷路のよう !？」と、今回の見学は驚きの連続でした。ご利用者様の様子をうかがうと、とても落ち着いていらして、「町家で暮らしてこられた方は、こうした環境がとても落ち着けるのだ」と納得しました。本当に私は頭が固く、形に囚われがちだなと思い、恥ずかしかったです。我々が固定観念で「良かれ」と思い、色々なことを押し付けてはいないか、「住まい」や「暮らし」について、改めて考えさせられました。もっとご利用者様の視点で考え、より良いご支援ができるよう努力していきます。

濱上 さらなる「満足」へ、もっと話し合う

決して高齢者介護に向いているハードとは言えないですが、スタッフの工夫や業務方法で建物の良さを壊さず、とても素晴らしい雰囲気を作り出しているのでしょう。スタッフの考え方や思い次第で、いくらでも変われるのだと感じました。

我々ももっとご利用者様に満足いただけるよう、「どのように工夫していくか」をスタッフ全員でもっと話し合っていこうと思います。

溝口 開放的な憩いの場を目指したい

ほっこりさんを見学し、私たちの事業所もご近所の方・地域の方がふらっと立ち寄れる解放的な憩いの場となるよう目指したいと思います。

また、高齢者住宅・デイサービス・訪問介護の職員が同じ敷地内で行き来する「馴染みの職員による支援で安心して過ごしてい頂ける」環境は、私たちと共通していると感じました。今回の見学を機会に、より一層ご利用者様に満足していただけるサービスをご提供できるよう、スタッフみんなで力を合わせていきたいと思います。

川口 より良くする工夫を続けていきたい

町家という名前の通り、和風の普通の家でいるかのような環境で過ごせるので、ご利用者様が落ち着かれているように見えました。

ご利用者様と一緒に考え、落ち着ける空間と一緒に作っていけたら、今以上に居心地の良い時間を過ごすことができると思います。さらに一人ひとりにフィットした落ち着ける環境を探し、工夫を続けていきたいです。



五味の今号の



今回は当初、「町家」という情緒ある建物に圧倒され、「古き良き日本家屋の良さ」や「工夫を凝らして対応されている点」にばかり目がいてしまいましたが、本質はやはり「人」なのだと確信しました。ご利用者様からお話を伺うに、ご満足されている一番の理由は、職員の方お一人おひとりが、置かれている環境のなかで可能なことを考えて工夫し、親身になってご利用者様に対応されているからだということが良く分かりました。

また、「**学んだことは、いかに現場に活かしていくかが肝要**」という、その場だけで終わることない意識づけ、そしてその習慣化についても改めて考えさせられました。

今回は参加者の「振り返り」をご紹介します、この経験を得た我々が半年後、1年後に何が変わったかをお話させて頂こうと思います。



社内研修「自己理解を深める」 ～「ありがとうの輪」広げよう～



私たちは、「より良いサービスの提供」を目指し、定期的に社内研修を行っています。先日は、対人援助スキルアップ研究所所長の佐藤ちよみ先生を講師にお迎えし、「介護職員としての心構え～自己理解を深め、他者との関わりを見つめ直す～」をテーマに職員全員で学びました。

研修の冒頭、佐藤先生は介護職での経験などで自身の紹介をユーモアを交えて行い、「自分がどういう人間か」を客観的にとらえることが重要なのだと説明されました。

その実践として私たちは、「他人からの注意を素直に聞くことができるか」といった、自分自身を見つめ直す様々な設問に回答し、それを数量化したグラフを個々に作成しました。その手法については割愛しますが、数値によって人柄を分析するもので、「優しく明るく世話好き」であったり、「自己共に厳しく目標を追求する」といった具合です。

結果をグラフを見ると、秀でた部分と足りない部分が一目瞭然です！驚くと同時に、自分自身がさらけ出されているようで、これはとても恥ずかしいです。「早く何とかしよう！」という気持ちがふつつつと沸き、客観的にとらえることの効果をダイレクトに感じるようになりました。

とはいえ、どうやって改善するべきか、その方法は大きな課題です。特にネクストビジョン全体では、「自分を肯定的に認めることが苦手」なタイプ、「自己犠牲」タイプが多く出ており、佐藤先生もここに注目されています。

「自己犠牲の上に他者の援助は成り立ちません。**ほめる言葉をもっとシャワーのように自分自身にかけて、自信をつけてください。**自信とゆとりがあるから笑顔があふれる。そうすると、利用者様から『すまないね』じゃなく『ありがとうね』の言葉をもらえるようになる。**『ありがとうの輪』が広がる環境を目指しましょう**」と佐藤先生は一人ひとりに呼びかけました。その後も、タイプ別に具体的な行動を紹介することで、分析の後、どのように成長していくべきかを示して頂きました。

今後も私たちは、ご利用者様に喜んでいただくことを第一に、研修活動을続けて自身を成長させていく考えです。

佐藤ちよみ 先生
(対人援助スキルアップ研究所 所長)

介護支援専門員・介護福祉士。
交流分析インストラクター・東京
都福祉サービス第三者評価者・介
護技術講習主任指導者。

ケアマネ・介護職の研修を中心に、
居宅サービス計画・施設サービス計画・訪問介護計画
等の作成法、介護技術講習等を行っています。



Next Vision

- デイサービス ケアビレッジ御坊 通所介護** (Yellow oval)
- ケアビレッジ御坊 サービス付き高齢者向け住宅** (Blue oval)
- ケアビレッジたから サービス付き高齢者向け住宅** (Light Blue oval)
- ケアビレッジ デイサービス歩 通所介護** (Olive oval)
- ケアビレッジ 居宅介護支援事業所 居宅介護支援事業所** (Green oval)
- ホームヘルプサービス ケアビレッジ御坊 訪問介護** (Purple oval)

